

水田におけるぼかし肥料等有機物の施用法

福島県農業試験場農芸化学部
平成17年度試験成績概要

- 1 部門名 水稻－水稻－施肥法
分類コード 01-01-13000000
- 2 担当者 佐藤紀男・佐々木麻衣
- 3 要 旨

水田における各種有機物の窒素肥効率を算出し、窒素肥効率に基づく有機物の適正施用量を明らかにした。

(1) 有機物の窒素肥効率は、牛ふん堆肥では20～30% (オガクズ等の副原料の添加量によって異なる)、米糠では約65%、ナタネ油粕では約70%、米糠とナタネ油粕を等量混合して発酵させたぼかし肥料では約60%であった。

(2) 化学肥料窒素6kg/10a (基肥4kg/10a+穂肥2kg/10a) に相当する有機物の施用量を窒素肥効率に基づいて算出すると、ぼかし肥料 (現物当たり窒素4.9%) 単独では約200 kg/10a、ナタネ油粕単独 (現物当たり窒素5.9%) では約150kg/10a、牛ふん堆肥 (現物当たり窒素0.9%、肥効率30%で算出) とぼかし肥料の併用では牛ふん堆肥1000kg/10a、ぼかし肥料120kg/10a、牛ふん堆肥とナタネ油粕の併用では牛ふん堆肥1000kg/10a、ナタネ油粕80kg/10aとなる。

- 4 その他の資料など